



男女共同参画社会 川柳・俳句募集!

応募締切

2026年

3月2日

作品テーマ **「防災」**

- ☐ いつもの暮らしの中でできる備え
- ☐ 家族で話し合っていること
- ☐ 備えていれば安心だなと思うこと
- ☐ 地域での防災の取組
- ☐ 安全・安心なまちづくりへの願い など

「男女共同参画」と
「防災」の関係は
チラシ裏面をチェック!

応募資格 さぬき市に在住・在勤・在学の方

応募点数 1人2点まで（自作・未発表のものに限ります）

応募方法 応募作品・住所・氏名（ふりがな）・連絡先・（希望者はペンネーム）を明記して、郵送・持参または下記応募フォームから応募ください。

（志度図書館・寒川図書館にも応募箱があります）

申込先 〒769-2195 住所不要

さぬき市役所「男女共同参画川柳・俳句」係

その他 応募作品はパネル展での展示など、啓発に活用します

※応募作品に関する一切の権利は、さぬき市に帰属します

※公序良俗に反する場合等、内容によっては展示を見合わせます

※作品の著作権等に関わる問題が生じた場合は、応募者の責任において処理することとします

＼こちらから！



【問】

人権推進課 087-894-9088

としとし

ご応募ください！ ➡

「男女共同参画」と「防災」



東日本大震災をはじめとする大規模災害の教訓から、防災や復興のあらゆる場面で「男女共同参画の視点」を取り入れる重要性が見直されました。

なぜ「男女共同参画」の視点が防災に必要なのか？

災害は誰の身にも起こりうるものです。

しかし、性別・年齢・障がいの有無・意思の疎通をしやすいかどうかなどにより「困りごと」の出やすい場面が異なります。

「男女共同参画の視点」では、そうした違いに配慮しながら、すべての人が安心できるように備えることを重視しています。



災害の影響は
人によって違うんだ

避難所や災害時に起きやすい「困りごと」

授乳できる場所はあるかな？



女性用の下着・生理用品は備えてある？

車いすのまま使えるトイレは？

LGBTQ+の人が安心して過ごせるスペースも大切

実際に災害が起きると、こうした“見えにくい困りごと”が起こりやすくなります。

「性別」「世代」「生活状況」「体の状態」などの違いを考慮しないと、支援や避難所環境で困る人が出てしまいます。

男女共同参画の視点で「できること」

□ 防災について多様な視点で考えよう

→地域の防災を考える場に、女性・若者・高齢者・障がいのある方など、多様な立場の人の声を加えましょう。

□ 避難所の運営に配慮を

→プライバシーの確保や安心して利用できるトイレなどについて考えましょう。

□ 日ごろから“話しやすい地域・仲間づくり”を

→ 支え合える関係は、災害発生時だけでなく普段からの備えにもつながります。



私たち一人ひとりができること

家族や友人と「もしものとき」を話し合いましょう。

自分の状況（年齢・体の状態・性別・家庭環境）にあった備えか点検し改善しましょう。

地域の避難訓練や防災会議に関心を持って、参加してみましょう。

「困ったかも」「助けてほしいかも」と思うとき、声を上げやすい関係をつくりましょう。



「男女共同参画の視点」は、性別だけでなく、年齢・障害の有無・立場などが違うすべての人が安心して暮らせる社会をつくるための視点です。
みんなで力を合わせて、「誰一人取り残さない安心のまち」をめざしましょう。